

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	コロナ禍において、特に施設内を中心に過ごすため、より一層、張り合いや生き甲斐が大切になってきた	今までの生活履歴や嗜好を再確認し、日常の生活に反映できるようにしていく。	ご家族とのやりとり、入所までの記録、本人との会話の中で、新たに見いだせるもの、再度ご家族との話の中での発見できるようにしている。	3ヶ月
2	19	コロナ禍での制限がでてきているため、密接な協力関係が厳しくなっている。	今現在、家族様とできることを話しあい、利用者様との絆が切れないようにしていく。	家族様の要望や、施設としてできることの見解交換をし、利用者様の現状の様子、今後の課題など、小まめに話し合い、場合によっては文書などを送ることもある。	3ヶ月
3	27	外出支援などが減少しているため、施設内での生活に反映できるように、個人個人の気づいたこと、要望を共有できるようにしていかなければならない	見逃していた情報、行動を再度見つめなおし、記録することで、望んでいることを反映する。	勉強会、ミーティング等、機会のある場での情報交換をし、利用者様へのサービスに繋がるようにしている。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。